

# 2022(令和4)年

しんらんしょうにん  
親鸞聖人

## 5月28日(土)

## 午前10時より

# 降誕会

ごうたんにえ

親鸞聖人は、承安3(1173)年5月21日、京都の日野の里でお生まれになりました。  
本願寺では明治7年(1875)より、この日を「降誕会(ごうたんえ)」と名づけ、ご本山である西本願寺を始め、一般寺院においても大なり小なり、親鸞聖人のご誕生をお祝いする法要や行事が行われます。  
親鸞聖人の父は藤原家の流れをくむ日野有範(ありのり)、母は吉光女(きっこうにょ)と伝わっています。  
幼くしてご両親を亡くされ、わずか9歳の時、青蓮院で出家得度された後、二十年間にわたって比叡山で仏道修行を積まれました。  
しかし、厳しい修行を積み積むほど、自己のあさましい姿に気づき、悩まれ、ついには29歳の時、比叡山を下りて吉水(よしみず)の法然上人のもとを訪ね、その門弟となりました。  
法然上人のお導きにより「阿弥陀如来のご本願」に出遇われ、その救いを信じて生きる「念仏の道」に入られます。  
その後、1207年念仏弾圧によって越後に流罪になられた後、その土地で恵信尼さまと結ばれたといわれています。  
42歳の時、越後から関東へ移られ、20年間にわたって常陸(茨城県)を中心に念仏を広められる傍ら、『顕浄土真実教行証文類』(教行信証)を著されます。  
そうして62, 3歳の頃、京都へ戻られて後は、教行信証の添削をされるとともに、三帖和讃をはじめ数多くの書物をご執筆になり弘長2年11月28日(新暦1263年1月16日)、親鸞聖人は90歳で往生されたのでした。  
『降誕会』(ごうたんえ)はその聖人のご誕生をお祝いし、その「み教え」との出遇いに感謝するご縁です。  
ご門徒のみなさま、どうぞ揃ってお参りください。



# 寂靜山大光寺

高野口町伏原 1179

ホームページあります

